

経済産業省では、セキュリティ検証サービスの高度化を目的とし、検証サービス事業者及び検証依頼者が実施すべき事項や、二者間のコミュニケーションにおいて留意すべき事項等について整理した「機器のサイバーセキュリティ確保のためのセキュリティ検証の手引き」を公開しています。

<概要>

●IoT機器において、セキュリティ上の脅威に繋がらうる脆弱性の有無や、セキュリティ対策の妥当性を確認するには、セキュリティ検証が有効です。一方、従来の検証サービスは、検証者の暗黙知に依存していることが多く、効果的な検証手法が確立されていませんでした。

この課題などを踏まえて、検証サービス事業者や検証依頼者が実施すべき事項と、依頼者が持つべき知識、サービス事業者と依頼者の両者間で共有すべき情報や留意すべき事項などについて整理したのが、この手引きです。

本手引きは、セキュリティ検証サービスの高度化を目的とするもので、以下の点について整理したものです。

- ①機器のセキュリティ検証において検証サービス事業者が実施すべき事項
- ②より良い検証サービスを受けるために検証依頼者が実施すべき事項及び持つべき知識
- ③検証サービス事業者・検証依頼者間の適切なコミュニケーションのために二者間で共有すべき情報や留意すべき事項

1. 構成概要

1-1 手引きの本編・別冊の概要 本編（本文書）

「機器のサイバーセキュリティ確保のための セキュリティ検証の手引き」

- ・ 検証サービス事業者が実施すべき事項や、検証 依頼者が実施すべき事項や用意すべき情報、二 者間のコミュニケーションにおいて留意すべき事項 等を示す。
- ・ 信頼できる検証サービス事業者を判断するための基準を記載する。

1-2 別冊 1「脅威分析及びセキュリティ検証の 詳細解説書」

- ・ 検証サービス事業者が実施すべき脅威分析の手法や実施すべき検証項目、検証の流れを詳細に 示す。
- ・ 機器全般に汎用的に活用できる整理を目標とするが、対象の例としてネットワークカメラを実例とし た手法の適用結果も示す。

1-3 別冊 2「機器メーカーに向けた脅威分析及び セキュリティ検証の解説書」

- ・ 機器メーカーが実施すべき事項や用意すべき情報 等、意図した検証を依頼するために必要な事項 を詳細に示す。
- ・ 攻撃手法への対策例や、検証結果を踏まえたリスク評価等の対応方針を示す。

1-4 別冊 3「検証人材の育成に向けた手引き」

- ・ 検証人材に求められるスキル・知識を示し、それらのスキル・知識を獲得するために望まれる取組 みを示す。
- ・ 検証人材のキャリアを構想・設計する上で考慮すべき観点を示し、検証人材のキャリアの可能性を 示す。

2. 対象者

- ・ 本手引きは、機器検証を実施する検証サービス事業者、及びこの事業者に対して機器検証を依頼 するメーカーの開発者、検証担当者、品質保証担当者、セキュリティ担当者等の検証依頼者を特に対象 とする。

別冊 1 及び別冊 3 は特に検証サービス事業者、別冊 2 は検証依頼者 を対象にしている。

関連 リンク先 経済産業省

<https://www.meti.go.jp/press/2021/04/20210419003/20210419003.html>